



Oguni

2014 Vol.7

特集：小国から未来を考える

Oguni Senior High School



2014 Vol. 7

～小国から未来を考える～

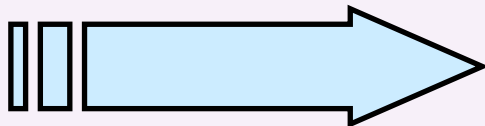
| | | |
|-------------|--------------------------------------|-----|
| | 目次「Oguu」とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | P 1 |
| 特集 1 | 世界へ羽ばたく 平野歩夢くん・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | P 2 |
| | 高橋恒行さんへ インタビュー | |
| 特集 2 | 夢と希望にあふれる 小国小学校訪問・・・・・・・・・・・・・ | P 3 |
| 特集 3 | 未来のエネルギー ペレットストーブ 小国グリーンエナジー合同会社訪問・・ | P 4 |
| 特集 4 | ちょっと一休み 片洞門休憩所「たんぽぽカフェ」・・・・・・・・・・ | P 5 |
| | 先輩インタビュー！/表紙紹介/編集後記・・・・・・・・・・・・・ | P 6 |

「Oguu」とは

小国高校生が地域の情報を発信する情報誌です。今年で第7号の発刊を迎えました！今回のテーマは「小国から未来を考える」です。ソチオリンピックのスキー競技で見事銀メダルを獲得した平野歩夢くんについての特集をはじめ、新しく建設された小国小学校の設備や、灯油を使わずに木材を加工して作ったペレットを燃料としたストーブなど、未来へ繋がる小国町の魅力をご紹介します！

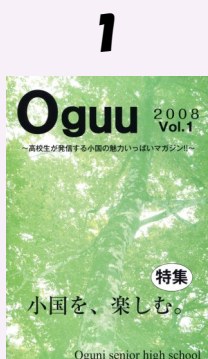


小国町の魅力はたくさんあります！！



BackNumber

* <http://www.town.oguni.yamagata.jp> より



世界へ羽ばたく♡平野歩夢くん

歩夢くんは幼い頃から小国の横根スキー場を拠点とし、日々練習を重ねていたそうです。小国町から世界に飛び立った歩夢くんの育ての親である高橋さんのお話によると、歩夢くんとの誰にも言えないエピソードもあるとのこと♡今では互いに「恒さん」「あゆ」と呼び合うほどの仲だともお聞きしました。

高橋さんは冬期間、朝早くからお客様のためにグレンデやハーフパイプの細かな整備を行います。滑りやすさを日々考えておられ、一度のずれでもわかるくらいの確かな技術をもっています。

オリンピックのスノーボード競技で銀メダルを獲得した平野歩夢くんを幼い頃から知っている横根スキー場にお勤めの高橋恒行さんにお話を伺いました。

高橋恒行さんへ

インタビュー*



▲オリンピック前に来町

オリンピックまでの道

歩夢くんは三歳の頃からお父さんが経営しているスケートパークでスケートボードを始め、四歳の頃から横根スキー場で練習をしていました。負けず嫌いな性格で、一度滑り始めると休みなく練習を続け、手袋が汗と雪とで絞れるほどになるまで努力していたそうです。小学三年生頃から「世界チャンピオンになる!」と言っていたそうです。このような努力が実を結び、オリンピックでは、多くの人々に感動を与える滑りを見せてくれました。

誕生日→11月29日

性格→シャイBOY♡

お兄ちゃんを良きライバルとし、誰よりも努力する人!

相手への思いやりがある!



▲歩夢くんの練習風景

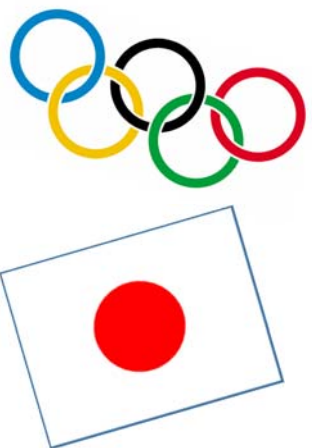
取材をしてみよう

歩夢くんをよく知る高橋さんにお話をお聞きし、歩夢くんの人柄が伝わってきました。何事に対しても決して諦めないという姿勢や、誰よりも努力し、夢を実現したということがわかりました。

歩夢くんの活躍する姿を見てスノーボーダーを目指す子どもが増えたそうです。私たちも、努力する大切さを忘れず、夢に向かって精一杯頑張っていきたいと、改めて思うことができました。



▲横根スキー場にて



～4年後の金メダル～

ガンバリ歩夢くん



夢と希望にあふれる

♡小国小学校訪問♡

- Q 新校舎について
- A きれいで、使いやすい。楽しい。
便利になったこと
- Q 可動式黒板。背の低い小学生でも簡単に書ける。
- A 体育館の床暖房。とても暖かい
- ・風通しが良い構造。
- ・涼しく快適。
- ・廊下や階段が広くなった。
- Q 人気の給食メニュー
- A フルーツポンチ
- ・ビーフストロガノフ
- Q 将来の夢
- A スノーボーダー、作曲家、学校の先生など
- Q 小国町の魅力
- A 自然がたくさんある。
・蛭、水、空気がきれい。



小国小学校が新校舎になりました。運営委員会の皆さんと先生にインタビューし、普段どのように感じているか、好きな給食や将来の夢などお聞きしたものをQ&A方式でまとめました。

明るく機能的な ECO STYLE



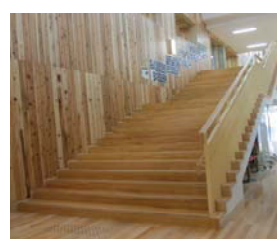
↑エコボイド
(自然採光通用換気)



↑メディアルーム
地元の木材をふんだんに使用



↑ゆったりとした広い廊下や階段



新設備！ 自然エネルギーの有効活用！

1. 木質チップボイラー
2. 太陽光発電

木質チップボイラーとは

木材片を燃やして地下から水蒸気を送り、各部屋にあるパネルから送風して室内を暖かくする設備。無散水消雪もできる。

太陽光発電とは

校舎の屋上に取り付けられた発電用のパネルで、電気が蓄えられる。生徒昇降口にある液晶モニターで蓄電量を見ることができる。

新校舎になり、小学生の皆さんはとても快適な学校生活を送っているようです。環境を考えた新設備なども加わり、小国町も進化を続けているのだなと実感しました。インタビューの際、小学生が思う「小国高生のイメージ」を聞いたところ、「挨拶がしつかりとしている、背が高い、足が速い、都会慣れしている…」などの他、ユニークな回答もありました。小国小学校の皆さんありがとうございました。

★★★取材をしてみて★★★

未来のエネルギー ペレットストーブ 小国グリーンエナジー合同会社



ペレットストーブ



こちらの会社では、ペレットストーブの販売、設置、メンテナンスなどを行っています。七年前に高橋さんがペレットストーブに興味を持ったことがきっかけだったそうです。展示場は小国に一つ、米沢に一つあります。現在は九名で活動しています。

ペレットストーブ自体は一台約十九〜四十九万円と高価ですが、燃料となるペレットは灯油に比較すると、一キログラム五十五円と低価格です。また、一台備えれば十五〜四十畳、ほぼ家を丸ごと温められます。何よりも環境に優しいということが注目されており、近年、購入する人が増えているそうです。

ペレットができるまで



大袋に入れる



成形機にかける



木材を砕く



木材を乾燥させる



袋詰めする



完成！



これがペレットです



小国グリーンエナジー合同
会社の皆さんと一緒に



**未来のエコエネルギー
自然との共生循環社会**

小国町の約九十七％が森林です。材木片や間伐材などを再利用し、恵まれた資源をよりよく活かすことができれば、さらに可能性は広がります。町全体に普及すれば、環境に優しいだけでなく、町内の雇用が増えます。若者の働く場所ができれば、人口減少にも歯止めがかかります。経済的にも町の中でお金が循環するなど、町の未来につながる可能性を感じました。

さらに現在、地球規模での様々な問題、温暖化、燃料・資源問題がありますが、まずは私たちにできることから始めることで、これらの問題解決の一つの糸口になるのではないのでしょうか。

ちょっと一休み

片洞門休憩所「たんぽぽカフェ」



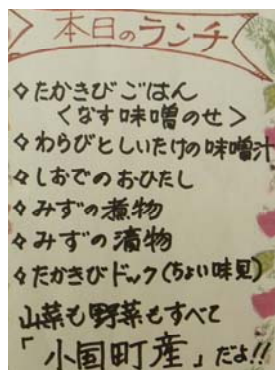
・たんぽぽカフェ・

国道一三号線沿いの片洞門休憩所「たんぽぽカフェ」は小国町民や、小国町を訪れる観光客向けの休憩所です。この休憩所を運営しているのは、代表の岩沢かさんをはじめとする読み聞かせ仲間を中心とした計六名、皆さん全員主婦のことです。

代表の岩沢さんは以前から「小国には良い食材がたくさんあるのに食べないのは非常にもったいない」と考えておられ「食べてもらえる施設があつたらいいな」と思い、空いている場所を活用し「たんぽぽカフェ」を開いたそうです。この「たんぽぽカフェ」で食べられる料理のほとんどが小国産で、これがこの休憩所の特徴です。

右の写真が人気メニューの日替わりランチです。さくらんぼを除いて全て小国産の食材で作られています。メニューは毎日、その日に決めるそうです。全ての料理において食材の味を生かしたものになっていました。特に「しおでのおひたし」がおすすです。また「たかきびドッグ」や「たかきびソフト」も人気のメニューです。みなさんも是非一度食べてみてはいかがでしょうか？

人気メニュー



・日替わりランチ・



・たかきびソフト・



今の高校生は、たくさんの方で頑張っています。今のみんなの頑張りが、後の生徒の頑張りにもつながるので、今をしっかり頑張つてほしいです。今の努力が自分の将来、小国の未来につながるはずです。

小国には他に負けない良さや魅力があります。故郷を誇りに思い、これからも小国町民として活躍していつてほしいです。

岩沢さんから小国高校生へ



先輩インタビュー

齋藤香穂さん

小国町役場 町民税務課
町民生活室 住民窓口担当

◇主な仕事◇

窓口での住民票、印鑑証明、転出・転入、婚姻・出生届受付。人口推移等担当。



齋藤香穂さんは、今年の春、小国高校を卒業した私達の先輩です。高校時代には明確にやりたいと思う仕事がなかったそうです。しかし、高校二年生に実施したインターンシップがきっかけで、この仕事に就くことを目指すようになったそうです。社会人として働くようになって、責任の重さやそれまでの学校生活での甘さに気付いたという事です。町民の方のあたたかさを感じた時や感謝の言葉をいただいた時にやりがいを感じるので。

高校時代には、生徒会長として活躍されていました。みんなで学校をつくり上げていくことに魅力を感じ、一生懸命努力していたそうです。また、地域文化学でまとめたレポートが、第七回「地域の伝承文化に学ぶコンテスト」において最優秀賞に選ばれ、東京、國學院大学で行われた表彰式に参加したこともあるそうです。

「小国高校は少人数だからこそ、いろいろなことに挑戦できる。手をかけてもらえるのは嬉しいことだが、自分から取り組むことも大切にしてほしい。挑戦する精神を鍛え上げていってほしい。」と私たち小国高校生にメッセージをいただきました。

表紙紹介

本誌の表紙は、山形DCのイベントを盛り上げるため、本校ライフクリエイティブ部が制作した作品の下絵です。完成した作品は、小国駅構内の壁面に取り付けられています。

本校の美術の非常勤講師である後藤拓朗先生が描いてくださいました。



編集後記

今回、私たち地域文化学四班は、取材活動を通して「小国町が秘めた可能性」を知ることができました。

小国町に住んでいる私達には普通のことでも、改めて見直して見てみると、実は素晴らしいものがたくさんあります。私たち自身がまだ知らない誇れる部分がたくさんあると感じました。何と言っても小国町の一番の特徴は、町の約九十七%を占める森林です。つまり、再生可能なエネルギー資源がたくさん眠っているということです。エネルギー問題は日本だけでなく地球全体で取り組んでいかなければならない大きな問題です。今回、特集の中で木質チップボイラーやペレットストーブなどを紹介しました。これらのエネルギー資源の活用が小国町の将来、そして地球の未来をよりよい方向に導いてくれることに期待します。

本誌を作るにあたり、小国町役場広報担当の伊藤拓也さんから雑誌の作り方について教えていただきました。伊藤さんからのご助言は本誌を作る上で大変参考になりました。取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



未来への挑戦 from OGUNI



編集メンバーより

- 志田 航大（表紙担当）……………小国町の良さがわかる雑誌になったと思う。
- 佐藤 季歩（P1目次担当）……………小国の魅力をたくさん伝えられる内容になってよかった。
- 小林 可奈（P2歩夢くん&高橋さん担当）
……………みんなで楽しみながら「小国の未来」を考えることができた。
多くの人に「小国の未来」を感じてもらえたら嬉しい。
- 高橋 亜美（P3小学校担当）……………取材を通し、小国町の新たな魅力を再発見することができた。
小国町は進化し続けていると実感した。
- 今野 輝（P4ペレット担当）…この学習で小国町の良いことがわかったし、楽しかった♪
- 山口 湧矢（P5たんぽぽ担当）…各ページにそれぞれの個性が出ている。
- 磯部 友里（P6先輩インタビュー・表紙紹介・編集後記担当）
……………小国町の新たな魅力を知ることができた。
- 梅津 光（裏表紙担当）……………今まで知らなかった町のことをたくさん知ることができた。

＜取材協力＞ 高橋 恒行さん 小国小学校の皆さん 小国グリーンエナジー合同会社の皆さん たんぽぽカフェの皆さん

小国町役場 伊藤 拓也さん 齋藤 香穂さん 東北公益文科大学 吳 尚浩先生

＜編 集＞ 山形県立小国高等学校 平成26年度 1学年 地域文化学4班

Oguu 2014 Vol.7

2014.11.1発行 <http://www.ygt-oguni-h.ed.jp/>